

再評価時再評価結果(平成30年度)

担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 山名 剛

事業の概要

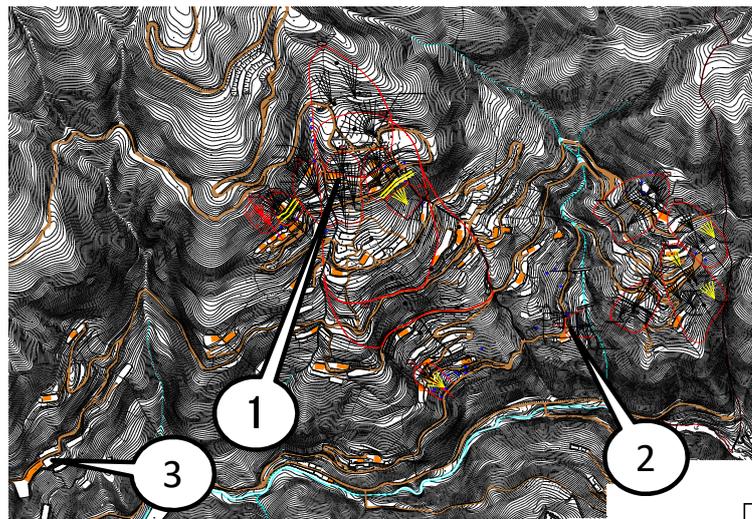
事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	三好郡東三好町大藤	箇所名	大藤地すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(横ボーリング工、集水井、水路工)				
事業の目的・必要性	大藤地区における地すべり対策事業は、地すべり防止施設等の設置により、人家、旧大藤小学校(避難所)等への地すべり活動による被害を除去または軽減する事を目的としている。当地区の保全家は76戸で、地すべり変動によって市道や宅地に亀裂や沈下が生じていたことから早期対策の必要があった。				
総事業費	740 百万円				

位置図 計画概要図



凡 例	
	地すべり防止区域
	地すべりブロック
	既設横ボーリング工
	H25~H29実施横ボーリング工
	H30実施横ボーリング工
	H31以降計画横ボーリング工
	既設集水井工
	H25~H29実施集水井工
	既設水路工

平面図



旧大藤小学校(避難)

事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用		総便益	
	平成30年度	6.8	20.5	943百万円	工事費・用地補償費 等	6,415百万円	人家76戸、道路 等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・人家の保全: 家屋被害等の軽減 ・市道の保全: 道路被害の軽減 ・耕地の保全: 農作物被害の軽減 ・人命の保全: 人身被害の軽減 						
ソフト対策	土砂災害警戒区域に指定済みであり、警戒避難体制の整備に寄与している。						
社会経済情勢等の変化	保全対象に変化なし。						
事業の進捗状況	全14ブロックで着手しており、内4ブロックは概成済みで、内3ブロックは概成に向けて調査観測を実施している。残る7ブロックについても平成33年度までに対策工を完了する予定であり、平成34年度に地すべり運動の沈静化を確認して概成する見込みである。平成30年度の進捗率は事業費ベースで74.0%である。						
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:6.2, 事業費-10%:7.8, 工期+10%:6.9, 工期-10%:6.8, 資産+10%:7.4, 資産-10%:6.2 残事業費+10%:19.0, 残事業費-10%:22.4, 残工期+10%:20.7, 残工期-10%:20.7, 残資産+10%:22.4, 残資産-10%:18.7						
事業進捗の見込み	平成34年度完了に向けて、特に隘路なし。						
対応方針(案)	継続						
対応方針理由	保全対象人家が多く、避難所も保全対象に含まれることから社会的影響が大きいため。						

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

継続の理由

上記の費用便益分析の結果より、便益に対する事業費は妥当であり、事業進捗も74.0%と事業完了が比較的近い。したがって、地域の人命・財産の安全を確保するため、平成34年度の完成に向けて地すべり対策事業を実施していく。